

ななお 商工会議所 だより

06 No. 630
2023

<https://nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



七尾商工会議所

検索



七尾商工会議所

検索



表紙写真：能登よさこい祭り 写真提供：和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合

C
O
N
T
E
N
T
S

- P2 七尾市との意見交換会/
馳浩石川県知事へ要望書を提出/
- P3 建設部会/商業部会/サービス部会
- P4 入門!会社の数字 読み方・使い方セミナー/
セミナーのご案内
- P5 景況調査
- P7 七尾未来アワードグランプリインタビュー
(一社)ともえ「居ばしょ食堂」
- P8 青年部だより/女性だより/「にっぽん丸」4年ぶり入港!
- P9 七尾特産品協会が丸亀市に出店!!/
スタートアップビジネスプランコンテストいしかわ2023/
- P10 モントレージャズフェスティバルイン能登開催決定/
第148回 通常議員総会及び特別講演会のお知らせ/
令和5年度会費ご納入のお礼/
七尾キャッシュレス決済ポイント還元事業
- P11 トレンド通信/行事カレンダー
- P12 杉田 定大 氏講演会のご案内

七尾市と七尾商工会議所との意見交換会開催

5月15日(月)、七尾商工会議所において七尾市と七尾商工会議所の意見交換会が七尾市から茶谷七尾市長、松崎産業部長、中村産業振興課長、立川交流推進課長、七尾商工会議所から杉野会頭、赤副会頭、北原副会頭、木下副会頭、小川専務理事ほか事務局が出席して開催されました。

開会にあたり、杉野会頭から「七尾市と様々な事業について意見交換する中で、私どもと一緒に事業を進めてきたいと考えています。まずは、今回の5月5日に発生した震度6強の能登地方地震への風評被害対策が喫緊の課題で、奥能登に県内、富山から来てもらう仕掛けも必要。また、能登地域経済団体の一体となって事業を進めていきたいと考えています」と挨拶がありました。

茶谷市長からは「市で出来る事、経済界で出来る事を一緒に進めていくことによって2が3になったり4になったりすると思っています。地震によって経済が疲弊するこ

とがないように色々な事業を進めていきたい。行政と経済界、他団体と力を合わせて一致協力をするることによって七尾を盛り上げていきたい」と挨拶がありました。

引き続き、七尾市側から令和5年度産業振興施策の概要、七尾商工会議所より会議所中期ビジョン概要について説明し、意見交換では、DXへの取り組み、移住定住への対応、羽田未来総研との包括協定などについて意見交換し、閉会しました。



能登地方を震源とする震度6強の地震発生

馳浩石川県知事へ、被災中小企業・小規模事業者の復旧・復興に向け要望書を提出

5月11日(木)、石川県商工会議所連合会の杉野哲也副会頭、西正次副会頭と石川県商工会連合会の田上会長は、馳石川県知事に対して珠洲市で震度6強を観測した地震で被災した中小企業、小規模事業者への支援を求める要望書を提出しました。

出席者を代表して杉野副会頭から能登地区の中小企業・小規模事業者が本来の企業活動に復帰できるように道路等インフラの復旧、がれき等災害廃棄物の処理など強く望むとともに、被災した中小企業・小規模事業者の支援及び風評被害に対しても万全の策を講じていただくよう要望しました。

これに対して石川県当局から、被害の全容を把握し、対策を講じていきたと回答がありました。

要望内容は下記のとおり

1. 被災した中小企業・小規模事業者に対する支援

(1) 事業用施設・設備の損壊等により事業の継続が困難になっている企業にとって、新たな投資は大きな負担となり、中でも、小規模な企業においては企業の存続にかかるケースも想定されます。

このため、被災事業者の回復に向けた取り組みに対する支援を要望します。

(2) 今般の地震は、企業規模の大小を問わず、企業経営を根底から揺るがす被害をもたらしていることから、被災した中小企業・小規模事業者の施設・設備の崩壊、損傷等に対応した設備資金及び運転資金に係る特別の融資制度の創設を要望します。



2. 産業基盤等の早期復旧

産業活動、社会生活、観光ルートの大動脈である国道249号などの道路や港湾施設など産業基盤の早期の完全復旧を要望します。

3. 風評被害防止対策

春の観光シーズンも始まり、被災状況が全国各地に報道されたことによる風評被害の防止は本県、特に能登地域にとっては、喫緊の課題であり、早急に対策を講ずることが必要です。

そこで、「いしかわ旅行割」の継続など強力な風評の払拭・誘客対策の実施を要望します。

建設部会

地元の建設業界と学生や若者への交流・情報発信
～ 4月定例会 個別的具体的な活動を協議 ～

4月25日(火)、当所の建設業部会(室塚宏一副部会長)は、令和5年度の4月定例会(役員会)を開催して、本年度の部会事業計画の具体的な内容等を協議しました。

冒頭、室塚副部会長は、「今回、姥浦昭二部会長が欠席されましたが、今年度が新任3箇年の初年度となり、その1回目の定例会として重要であり、3月の通常議員総会で承認された事業計画の具体的な内容と主な活動を確認したい」と挨拶しました。

最初に、報告事項として、3月の通常議員総会での各部会長等の発表について、姥浦部会長の代理で野見俊彦幹事が発表を行ったので、その旨の報告を行いました。

次に、基本計画の個別的具体的な内容では、前部会で姥浦部会長が提案された4項目について協議を行い、第1期3箇年の活動を踏まえた継続性が必要であるとしてこの4項目で合意しました。

また、協議では国の人口減少・建設業界の後継者及び人手不足・建設業界の社会的貢献の認知不足等もあり、

『地元建設業界の社会活動を知って貰うために、地域の学生や若者との交流も取り入れた楽しく興味を惹くイベント的な事業活動も必要ではないか』との意見もあり、出席者皆の賛同を得ました。

この事業活動を基本計画に追加することとして、年間活動スケジュールも含めて、次回定例会で詳しく検討協議することになりました。

最後に、次回の定例会(役員会)は、6月下旬に開催することにして閉会しました。



将来を担う学生や若者が建設業界に興味をもってもらうために…

商業部会

Z世代の消費行動探る アンケート実施へ
商業部会 [第1回] を開く

5月25日(木)、商業部会(久保晋部会長)は当所にて、令和5年度の役員会[第1回]を開催しました。

冒頭、久保部会長は「若者を中心に、人々は『モノ』より『コト』への消費に重きを置くようになった。市内各所に人の流れを作るには、変遷する消費者心理を正確に把握しなければならない」と述べました。

久保部会長の言葉を受け、今年度の事業として、若者へのアンケート調査を実施することが決定しました。市内在住の「Z世代(10代～20代前半の若者)」を対象に、「休日の行動」や「どこでお金を使うか」、「七尾への思い」などを問い、消費行動や地元への意識について分析します。

質問内容や対象者、媒体などについては7月の役員会で協議し、今秋中にもアンケートを作成、実施するこ

とを取り決め、閉会しました。

久保部会長は他にも、3月に開かれた第147回通常議員総会の各部会長報告において、これまでの当部会活動を報告し、他の部会長、委員長らと七尾の活性化について意見交換したと話しました。



Z世代の消費行動の特徴について考える部会役員

サービス部会

令和5年度第1回サービス業部会の開催

5月19日(金)、サービス業部会は、当所にて令和5年度第1回となる部会を開催しました。

木下義隆部会長の「本日は令和5年度事業計画(案)について、ご検討をお願いしたい」との挨拶の後、事業計画について審議しました。

出席部会員から活発な意見交換が行われ、事業計画として「サービス業部会員の交流会を開催し、会員の脱会を防ぐため、商工会議所のPRをする」ことが、採択されました。

次回の部会において、各部会員の意見を取りまとめたうえで開催し、検討することとしました。

N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター(N-As)
 ななお創業応援カルテット
 石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾(N)の明日(As)の経営/経営のなやみ、なんでも、お手伝い

入門!会社の数字 読み方・使い方セミナー開催

5月29日(月)、七尾商工会議所・ななお経営支援センターは、石川県よろず支援拠点の中嶋克也コーディネータを講師に招いて、「入門!会社の数字読み方・使い方セミナー」を開催しました。決算書の主要内容となる「貸借対照表」「損益計算書」の内容とその見方、使い方の初歩をご案内しました。

内容は以下の通りです。

- 1.「会社の基本活動は、お金を集め、それを使って、利益を上げること」、それを表しているのが財務諸表
- 2.会社の一定時点の財政状況を表している貸借対照表の構造とその見方・使い方
- 3.投資した資産を使ってどのように利益を上げたかを表している損益計算書の構造とその見方・使い方、減価償却について
- 4.黒字化する売上高を算出する損益分岐点売上高の算出方法

会社の数字で色々なことがわかり、いろいろなことに利用できます。そしてこの財務諸表を理解すれば、自社・店の事業を把握できます。

会社の数字について知りたい方は、七尾商工会議所のよろず支援拠点まで、お問合せください。



▶次回は、6月8日に「商圈分析と活用セミナー」を開催予定です。

セミナーのご案内 (受講無料)

セミナー名・日時	講師	申込方法 (QR)
商圈分析と活用セミナー 日 時: 令和5年 6月22日(木) 14:00~15:30 定 員: 5名 (先着順とさせていただきます。)	中嶋 克也 氏 石川県よろず支援拠点コーディネーター 中小企業診断士	
ショッピングサイト「BASE」活用セミナー 日 時: 令和5年 6月27日(水) 14:00~16:00 定 員: 5名 (先着順とさせていただきます。)	守部 和孝 氏 石川県よろず支援拠点コーディネーター	
はじめての経理・クラウド会計活用セミナー 日 時: 令和5年 7月6日(木) 14:00~15:30 定 員: 10名 (先着順とさせていただきます。)	亀井 大希 氏 税理士法人 なかむら会計	
事業承継の準備しましょう!セミナー 日 時: 【1回目】 令和5年 7月13日(木) 14:00~15:30 【2回目】 令和5年 7月27日(木) 14:00~15:30 定 員: 5名 (先着順とさせていただきます。)	中嶋 克也 氏 石川県よろず支援拠点コーディネーター 中小企業診断士	

七尾商工会議所「景況・業況動向調査結果報告」 (令和5年1~3月)

当所では、管内の景気動向を把握するため、役員・議員・評議員・会員の皆様にアンケート調査を実施しました。令和5年1月~3月(第4四半期)の調査結果は以下の通りです。

DI	景況感	売上高	売上単価	仕入原価	資金繰り	採算性
全産業 (今期)	30.2	25.5	35.6	▲67.3	39.4	▲1.9
(来期) 見込み	15.1	15.1	32.7	▲60.6	27.9	▲8.5
製造業 (今期)	39.3	50.0	46.4	▲78.6	39.3	▲10.7
(来期) 見込み	32.1	28.6	32.1	▲75.0	17.9	▲25.0
建設業 (今期)	33.3	27.8	5.6	▲100	55.6	16.7
(来期) 見込み	▲16.7	0.0	38.9	▲83.3	38.9	▲33.3
小売業 (今期)	▲40.0	0.0	10.1	▲70.0	▲10.0	20.0
(来期) 見込み	30.0	30.0	30.0	▲10.0	20.0	20.0
卸売業 (今期)	33.3	▲8.3	8.3	▲16.7	33.3	16.7
(来期) 見込み	41.7	16.7	50.0	▲41.7	33.3	25.0
サービス業 (今期)	39.5	23.7	58.3	▲58.3	47.2	▲15.8
(来期) 見込み	5.3	7.9	25.0	▲58.3	30.6	▲2.6



とにかく好調 50 ≤ DI
好 調 5 < DI < 50
まあまあ -5 ≤ DI ≤ 5
不 振 -50 < DI < -5
きわめて不振 DI ≤ -50

DIディフュージョン・インデックスとは『増加・上昇・好転』の割合(%)から『減少・低下・悪化』の割合(%)を差し引いた指数です。

全体の景況感について ~「コロナ5類移行」も見通し厳しく~

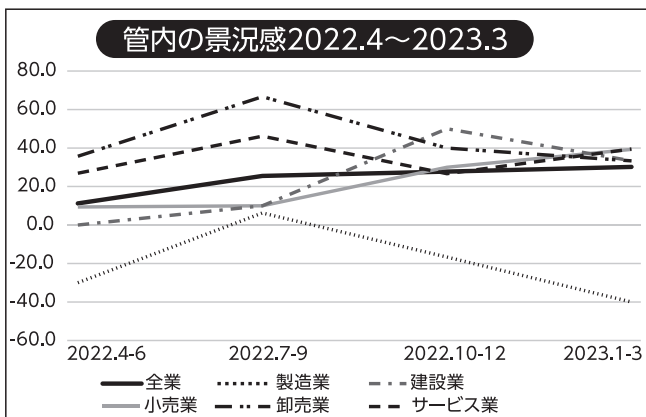
本調査期間中(1~3月)の景況感は、前期(10~12月)に比べ「不変」と回答した割合が56%と最も高く、「好転」は22%、悪化は「21%」となりました。来期(4~6月)の見通しについて「悪化」と回答する割合は30%を占めました。

新型コロナウイルスの影響について、58%が「改善してきている」と回答しました。「コロナ5類移行」による観光客数増加などに期待する声がかかれた一方、原油・原材料費の高騰により「浮揚感を感じられない」などといった厳しい見方もありました。

政府の燃料油価格激変緩和措置は9月末までとなっており、より一層のエネルギー価格高騰が見込まれます。対策として「新機器への設備更新」を選択した割合が32%となり、昨年度(17%)から約2倍増となりました。

政府の措置が終了する前に電力消費、燃料消費削減のための整備が急務となっています。

2022年度景況調査結果



小売業を除き、全体的に景況感がプラスで推移しました。コロナ禍による影響が収束し始め、冷え切った経済が持ち直しを見せましたが、年末ごろから始まった物価高による利益減少が足を引っ張り始め、各社販売単価の向上、利益確保のための無駄の削減に積極的に取り組んでいる真っ只中です。

各DI値がプラス推移しているのは、あくまでもコロナ禍での激しい落ち込みからの回復基調であることを示しており、決して各社が順風満帆な経営状況までは回復していません。先行きは、コスト増や人手不足等で慎重な見方が多いです。

実施期間: 令和5年4月8日~4月25日
対象期間: 令和5年1~3月期
有効回答数: 53件(オンライン37件、書面16件)
回答形式: 選択回答(複数回答可)および自由回答

次回の令和5年4月~6月(第1四半期)の調査は、7月の会報紙面で告知する予定です。皆様、ご協力の程、よろしくお願ひします。



七尾未来アワード グランプリ受賞者インタビュー

プロジェクト名

居ばしょ食堂

プロジェクト内容 不登校・引きこもりの方の居場所の提供



学校に行きたくない子
おうちにいたくない子
生きることが苦しい子があつまるみんなの居ばしょ

始めたきっかけは？

松下: 私たち一般社団法人「ともえ」は、障がいのある方に暮らしの場と仕事の場を提供しています。以前、運営スタッフの子供が不登校になったことがありました。子供が学校に行かなくなると、親は働くことに制限がかかります。「働きたくても働けない、どこに相談をすればいいのかわからない」そういった状況の中で、はじめは仕事場に連れてきていたのですが、そういう外に出たくない子供は「大勢の中に居ることが辛い」などの精神的な負担を感じていました。その時からこの事業の必要性は感じていました。



七尾未来アワード グランプリ受賞
一般社団法人ともえの皆さん

中川: 平日の昼間に子供が街中を歩いていると「どうしたの?」と違和感を持たれ、心配されたり不審に思われたりします。実際行くところが無いんですよ。

松下: 代表の花田も「これまでも子供たちが危険にさらされるようなことがあつたんじゃないか」と話していました。「不登校の子など誰もが来られるシェルターのような場所を作ろう」そして「子供たちの助けになりたい」と始めたのがこの「居ばしょ食堂」です。

五十嵐: 本格的にスタートしたのは昨年12月から。現在は、12人ほどの子供たちが私たちのところへ来ています。



(左から)中川萌さん 五十嵐真菜さん 松下順子さん



やってみて感じることは？

松下: 不登校の子たちの居場所作りを考えていて、はじめは食べ物提供をそんなに重要視していなかったんです。高校生くらいになると学校に行っていないことを親に内緒で来ている子もいて、自分の少ないお小遣いから昼食代を出さなければならぬと知りました。

中川: 「お昼ご飯それで足りるの?」って聞いたら「足りないけど、コンビニのおにぎり150円もして高いんですよ」と言った子がいました。働いている大人には決して高い金額ではないけれど、子供たちにしたら簡単に出来る金額ではないんですよ。

松下: なけなしのお金で来てくれたんやと思ったんです。その話から、食べることは活力になるし大切なことだと思ふようになり「居ばしょ食堂」と名付けました。

五十嵐: この事業において、私たちはあくまで“子供の見方”

でありたいと思っています。子供たちと一緒にいると、どこか大人を信頼していないところがあると感じます。だからこそ子供に対しては寄り添い、聞いてあげる、居てあげるというスタンスを大切にしています。

松下: 主にこの若い二人が子供たちをサポートしています。ちょっと上のお姉さんといった立ち位置。子供たちは、専門家や先生といった人たちにアレルギーみたいなものを感じているので、子供に共感しいろいろな話を引き出せるのが彼女たちの強みです。ただ大人としての責任もありますので、親に言った方がいいかどうか考え、本人の承諾を得て話合いを持つこともあります。少し間違えると子供の信用を失うこともあり得ますし、勇気を出して来てくれた子に対して何が出来るのか、スタッフの中でもよく議論が起こります。親の心配もよく理解できますから、そういった葛藤はいつもあります。

七尾100プロジェクトについて

七尾100プロジェクトは“まちづくり活動を応援するプロジェクト”として、七尾の未来を支えていく自発的な取り組みを応援する目的でスタートしました。

今年4月15日に開催された第二回「七尾未来アワード」はその一環事業であり、七尾で活動している(また、これから活動する)たくさんの方々のプロジェクトの応援を目に見える形で行うこと、また、それぞれに活動するプロジェクトを知ることで、互いに理解者・協力者となりつながっていくことを目標としています。



<https://n-100.net/>

親や学校との連携を作ろう

松下:親、学校とも連携が取れるようにしたいと考えています。教育者としては学校に来てほしいという思いがありますので、私たちの「行かんでもいいよ」という活動は相反するところがありますが、公立高校には相談窓口設置が義務付けられていて、情報交換などいろいろお話をさせていただいています。
五十嵐:「その子を取り巻く環境をどうすればいいのか」という話し合いが大切です。学校も大切な場所だけど、そこだけじゃないんだよ。「学校・親・居ばしょ」という感じで、みんながサポートメンバーみたいな関係性になったらいいですね。
松下:代表の花田が「ここに居ると分かれば、親も先生も安心する」と言ったことがあります、まさにそんなイメージです。

「引きこもり」は社会現象

松下:この事業はお金をいれずに運営しているので、資金の面で問題があり支援の必要性を感じています。8050問題^{*}などで県内でも「引きこもり」について検討していく流れが出てきました。行政機関を含めた連絡協議会がようやく立ち上がり、私たちもお声かけいただき参加しました。お金や運営、サポートについて、私たちの意見もお伝えしましたが、今後もしっかりと議論していくべき問題だと思っています。

七尾100プロジェクトに参加して

松下:今回グランプリを受賞して、行政の方からも「良かったね、ちゃんと議題に挙げさせてもらってるからね」とお電話をいただきました。中日新聞では写真まで掲載してくれて、多くの人に知ってもらえる機会になりました。
中川:今回のプレゼン^{**}をしてくれた男の子にとって素晴らしい経験になりました。どうやったら緊張がほぐれるか、どうやったらしゃべれるか、自分なりに考えての挑戦。家に居てゲームばかりしていた子が「居ばしょ」とつながり、みんなと会うのが楽しくなってきた、声をかけたら出てくれて、一番良い賞をもらった。
五十嵐:舞台上では周りのリアクションが全然分からなかったのだから「どう伝わっているんだろう」と不安にもなりましたが、彼はとても頑張りました。少し背中を押すだけでスイッチが入った感じです。

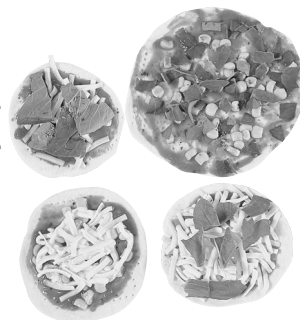
「居ばしょ食堂」から皆さんへのメッセージ

五十嵐:「居ばしょ食堂」ではフードロスにも取り組んでいます。子供たちのチャレンジで食事を作ったりもするので、余った食材をご近所のスーパーからいただいたり、個人の方が持ってきてくれたり。参加費や食費を子供たちから買っていないのでとても助かります。
中川:子供たちにお腹一杯になってもらいたいと思っています。日持ちのする食材などありましたら、お声かけいただけると嬉しいです。
松下:100プロジェクトに参加した男の子のように、何かがかきかけでスイッチが入ることもあると思うんです。子供たちには「今は辛いかもしれないけれど、今が全てではないよ」と伝えたいですね。行き場のない子にとって外に出ることは敷居が高いもの。でも、勇気をふり絞って私たちのところへ来てくれたら、私たちとつながってくれたらと思うんです。

私たちは月一回の家族の集い「UCHI(うち)」を開催していますが、親は親で「どうしてうちの子供は普通の子のように学校に行けないのか」など苦しい思いを抱えていますから、綺麗ごとでは片づけられないと思っています。親が元気じゃないと子供にはすぐに伝わってしまいますので、子供たちにとって親ではない第三者が見てくれる環境は心から大切だと思っています。理想は、子供にとって選択肢がもっと増えること。相性の問題もあるので「私たちと合わなくても他のところとは合う」というように、この事業の必要性を理解してもらって、その子に合った居場所を見つけられるような社会になったらいいと思っています。

中川:子供たちは、いろいろな理由で学校に行きたくない、家に居たくない切実な思いを抱えています。どこにも行けない子供たちは家に引きこもってしまって、人とのつながりを持たなくなってしまいます。
松下:その子供たちがずっとそのままなら、社会とのつながりが途切れてしまうことにもなる。結果はまだ誰にも分からないけれど、10代で私たちと出会ったことで何か変わることがあるならば、社会的な意義も大きいと思っています。

中川:他のプロジェクトでいうと「うますぎ一本杉」に興味があります。一緒に子供たちが体験できる機会を作れたらいいなと思いました。私たちは、子供たちがやりたいことをやってみて、そこから何かきっかけをつかむ「あなたのチャレンジ応援団」というプロジェクトをやっているんです。
五十嵐:「食」だったら、七尾の美味しいものを発見したり、マナーのお勉強ができたりします。また「職」だったら、七尾の伝統的な仕事を見ることができたり、短期バイトをすれば働く練習にもなります。
松下:今回プレゼンをした彼は、この経験で多くのことを乗り越えて「やれた」というのが自信になった良いモデルケースです。その機会をいただけたことは、彼の今後につながっていくと思います。



中川:子供たちには「息抜きにおいて」と伝えたいです。時間がつぶせるという感覚でいいと思います。ベストは、疲れたらまた来てまた出かけて、それを繰り返しながら、少しずつでも巣立っていくことだと思っています。

松下:ここに来る子供が増えていいわけではないのですが、そうやって循環していけばいい。子供たちのこれからを考えるといろいろな壁があると思うけれど、辛い時は「息がしやすいところで息をすればいい」と思うんです。子どもたちは普段私たちが気付かないところで傷ついたり、居づらさを感じていたりすると思うので「こういう場所があるんだよ」とまずは知ってもらおうこと。子供を一人にさせないために周りの方々にも知ってもらえるように活動していきたいと考えています。

interview&writing 小山百代

^{*}8050問題:長年引きこもる自立できない事業を抱える50代の子供とそれを支える80代の親のことで、こうした親子が社会的に孤立してしまう問題を指す。
^{**}プレゼン:プレゼンテーションの略。英語で「表現、提示、紹介」という意味で、顧客を説得する目的で広まったビジネス用語。

お問い合わせ

一般社団法人 ともえ
 代表者名:花田 仁美

住所:七尾市北藤橋町子27-8北野ビル1F

TEL:0767-58-6339

Instagram:https://www.instagram.com/ibasyosyoku/

公式LINE:@zam9358b Twitter:@ibasyosyoku





石川県商工会議所青年部連合会 第23回会員大会 加賀大会

5月23日(火)、第23回石川県商工会議所青年部連合会会員大会加賀大会が山代温泉・瑠璃光で開かれました。七尾商工会議所青年部からは会長の清水宏司氏他10人が参加しました。

通常総会では、令和4年度事業報告、収支決算、令和5年度の役員候補者、収支予算について審議され、それぞれ承認されました。令和5年度の県連会長・塩土良一氏が「馴染みのある顔ぶれが揃い、迅速に全員がまとまりそうだ。来年3月の全国大会成功に向け、しっかり運営していきたい」とあいさつしました。

続く会員大会では、記念式典として馳浩知事(代読)、宮元陸加賀市長らが祝辞を述べました。宮元市長は「著しい人口減少社会において、地域経済を支える青年部の活躍が重要になる」と激励を込めました。

その後の記念講演では「『全国大会加賀能登の國いしかわ小松大会』開催後の石川県青連を造像し実践に繋

げる」と題し、パネルディスカッションが行われました。「伝統製法を次世代に」との理念を掲げる生産者らで構成されるコミュニティー「HANDRED」のメンバーらが登壇しました。「生産効率を度外視しても、製品にベストなクオリティーを求める。モノや情報が画一化する社会において、独自性や地域性を守ることは重要だ」と、古き良きモノづくりへの情熱を語り合いました。



七尾商工会議所女性会定時総会開催

5月25日(木)、七尾商工会議所女性会は、令和5年度定時総会を番伊にて開催し、会員44名が出席しました。

冒頭、沢野千穂子会長より、「長いコロナの影響から脱し、平常通りの生活が送れるようになり、これ以上に皆様と活動を展開していきたいと存じます。今年度は、4つの委員会で、皆様のプラスになる楽しい企画を計画しております。会員相互の交流を深めて笑顔で、楽しい女性会にしていきましょう」と挨拶しました。

続いて、令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算、役員改選について審議し、それぞれ承認されました。今年度は、新企画となる「女性会deワークショップ」や、いしかわ百万石文化祭でのイベント、「横浜商工会議所女性会との交流会」等の多く事業を計画しております。役員改選では、長年、尽力していただきました三井優美子氏が監事を退任し、新監事に橋本淑子氏が選任されました。

総会後は、今年3月に石川県を退職された木村元洋氏を講師にお迎えし、「“つながり”を育み、能登をもっと楽しく豊かに」をテーマに講演会を開催しました。

総会、講演会終了後、懇親会が開催され、講師も務め



ていただいた木村元洋氏、来賓の茶谷義隆七尾市長、小川幸彦専務理事を迎え、会員相互の交流を深めました。

【会 長】沢野 千穂子
【副 会 長】田中 美智子/越 ひろみ/木下 まゆみ/森 浩子
【監 事】藤本 千鶴子/橋本 淑子
【理 事】木下 美也子/平野 範子/香村 奈都子/春木 未央子/小林 浩美/
笠間 幸子/谷野 清子/高橋 喜美子/平石 ゆかり/西野 明美/森 葉子/
齊田 真紀子/左藤 祐子/小山 百代/中西 文江/越中 和美
【特別顧問】木下 八重子

「にっぽん丸」 4年ぶり入港!

5月2日(火) 商船三井客船「にっぽん丸」が矢田新第一埠頭に寄港しました。

4年ぶりとなる入港で、七尾商工会議所女性会の会員や地元の年長園児が旗や手を振り、出迎えました。

歓迎式典では七尾港整備振興促進協議会会長を務める茶谷義隆市長があいさつし、地元原産コシヒカリ100キロと青柏祭の祝い菓子「長まし」500個を贈りました。



七尾特産品協会が『第74回丸亀お城まつり』に出店!!

5月3日(水・祝)～4日(木・祝)、七尾特産品協会は香川県丸亀市で行われた『第74回丸亀お城まつり』に七尾特産品PRコーナーを設けました。七尾市と丸亀市は親善都市でもあり、昨年に引き続き商品を販売しました。

七尾特産品PRコーナーには、数多くの家族連れや観光客が珍味、和菓子などを買求める姿が見られました。高澤商店、昆布海産物處しら井、なまこや、梅屋、すぎ省水産、山田屋の商品を展示しました。



START UP BUSINESS PLAN CONTEST ISHIKAWA 2023

スタートアップビジネスプランコンテスト
いしかわ2023

最大
600万円

START UP 
BUSINESS PLAN CONTEST
ISHIKAWA
2023

スタートアップビジネスプランコンテスト いしかわ2023 応募概要&スケジュール

最優秀起業家賞
1名

最大600万円

スタートアップ補助金500万円
+
UIターン支援補助金100万円*
インキュベーション施設を3年間無償で貸与
(いしかわクリエイトラボ又はi-BIRD)

優秀起業家賞
2名程度

最大200万円

スタートアップ補助金100万円
+
UIターン支援補助金100万円*

*最優秀起業家賞又は優秀起業家賞の内、県外在住者を対象とし、石川県での拠点設置費用として100万円以内の補助金

最優秀起業家賞 優秀起業家賞
共通

- ・ISICO、石川県工業試験場、金融機関等からなる支援チームによる集中サポート
- ・スタートアップビジネスプランコンテストいしかわHP及びISICO情報誌等による情報発信

特別賞

- ・女性起業家賞・地域活性化賞・学生賞 など

※該当者なしの場合がございます

応募資格 以下の①と②の双方に該当する方

- ①石川県を拠点(支店など含む)として、提供する技術・製品・サービス等に新規性・創造性を有し、市場性・成長性、事業可能性、収益性等を実現できるビジネスの実施を目的として、2年以内に起業を予定する者、又は実施年度の4月1日現在で起業後10年以内の者
- ②法人を設立している場合(予定含む)、同一企業からの出資が50%を超えないこと

応募方法

エントリーシートに必要事項を記入し、下記の事務局まで郵送又はHPエントリーフォーム、e-mail、FAXによりお申込みください。

エントリーはこちらです。

<https://www.isico.or.jp/startup/guide/>

「エントリーシート」は審査資料ではなく、応募資格を確認するためのものです。「エントリーシート」を提出いただいた方から順次、書面審査資料である「ビジネスプラン記載シート」を送信しています。皆様のエントリーをお待ちしております。

※応募書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。
※記入漏れがあった場合、エントリーを受け付けられない場合がありますので、必ず、申込前にご確認をお願いします。

お申込み・
お問い合わせ先

公益財団法人石川県産業創出支援機構 (ISICO) 成長プロジェクト推進部 スタートアップ支援課

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2-20 石川県地場産業振興センター新館2階 TEL 076-267-6291 / FAX 076-268-1322
e-mail bijicon@isico.or.jp / URL <https://www.isico.or.jp/startup/guide/>



第33回 ジャズが薫る港町七尾～海辺のJAZZ～
モンレージャズフェスティバルイン能登
開催決定

2023年7月29日(土) 15:00開場 / 16:00開演 (予定)

出演者 ※出演者は講事情により変更になる場合がございます。
 熱帯JAZZ楽団 special guest 渡辺真知子
 小沼ようすけトリオ feat.カイ・ペティート&大村亙
 Eddie Mendenhall Trio / CHIKO / 石川ジュニア・ジャズ・アカデミー・オーケストラ

入場料 【前売券】大人……5,500円 【当日券】大人……7,000円 / 高校生以下

チケットのお求めは
 セブンイレブン(セブンチケット:101-091)、ローソン(L:56991)、チケットぴあ(Pコード:243-224)、MJFイン能登ホームページ 他

主催・お問い合わせ
 モンレージャズフェスティバルイン能登 開催理事会・実行委員会
 〒926-0802 石川県七尾市三島町70-1 七尾産業福祉センター4F
 TEL.0767-58-6461 FAX.0767-58-6462 Mail・info@mjfinnoto.jp URL・https://mjfinnoto.jp/

全席自由 雨天決行



第148回 通常議員総会及び特別講演会のお知らせ

当所の第148回通常議員総会が下記の日程で開催されます。今回の通常総会は、令和4年度事業報告・収支決算について審議をする総会です。

また、特別講演会には、東京工業大学特任教授 SMBC日興証券特別顧問(元経済産業省大臣官房審議官) 杉田 定大 氏をお迎えいたしますので、併せてご案内申し上げます。

記

と き：令和5年6月26日(月)15:00～
 と ころ：七尾商工会議所 2F大ホール
 日 程：①総会 15:00～16:20
 ②講演会 16:30～17:30
 講 師：東京工業大学特任教授
 SMBC日興証券特別顧問(元経済産業省大臣官房審議官)
 杉田 定大 氏
 演 題：日本の自動車産業などの生き残り戦略と北陸地域の地域創生

**令和5年度
会費ご納入のお礼**

会員の皆様には、日頃より当所運営につきまして、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

5月18日(木)に口座振替の事業所様のご指定口座より今年度の会費を振替させていただきました。

また、口座振替をご利用されていない事業所様にも会費納入を賜りましたことを併せて厚くお礼申し上げます。

なお、今後口座振替をご希望の方は、ご連絡ください。

七尾商工会議所 総務課
 TEL 54-8888

ご案内

市民活躍都市 **七尾市** PayPay

第5弾

七尾キャッシュレス決済ポイント還元事業

第5弾となる七尾キャッシュレス決済ポイント還元事業を開催します。

令和5年 **6月1日(日)**から**7月31日(月)**まで

ポイント付与率 **最大 10%**

ポイント付与上限
 4,000ポイント/1回
 20,000ポイント/期間

スマートフォン決済アプリ「PayPay」を使って市内の対象店舗で支払うと最大10%のポイントが付与されます。

詳細は七尾市HPをご覧ください。



【訂正とお詫び】先月発刊の「会議所だより5月号」P3に掲載しました内容に、一部誤りがありました。ここにお詫びして訂正いたします。

《訂正内容》建設業部会 【主な業種】総合工事業、職別工事業、設備工事業、建築工事業、土木工事業、大工、とび、塗装業、電気工事業、管工事業、給排水・衛生設備工事業、造園業、測量業、リフォーム業、レンガ・タイル・ブロック工事業、床・内装業、屋根工事業、鉄骨工事業、鉄筋工事業、建設コンサルタントなど

トレンド通信

「川上思考、川下思考のすすめ」

「明日は千葉で田植えです」。打ち合わせをしていた高島屋の和菓子バイヤーさんがそう言うので事情を聞くと、同じ部署の人たちと交代で毎年田植えに参加しているとのこと。そこで育てたもち米は老舗の和菓子屋さんに納入され、それを原材料につくられた和菓子が高島屋で販売されているそうです。普段、和菓子を売る立場の人が、原材料づくりの第一歩から体験することで、商品に対する知識が深まり愛着も湧きます。こうした経験に基づいて、商品やその原材料をつくってくれる人への感謝の気持ちを持って販売に臨めるといいます。

中国の故事成句「飲水思源」とは、受けた恩や物事の基本を忘れないという意味ですが、まさにそれを地で行くようなエピソードだと思いました。

小売業やサービス業など直接お客さんに接する業態では、こうした考えで生産者さんを訪ねたり、自らものづくりを経験したりする例はたくさんあります。特に食品で顕著ですが、スーパーやコンビニだけでなくどんな売り場でも、消費者は手に取った商品をひっくり返して原材料や生産地、生産事業者を確認します。それだけ商品の上流をさかのぼるトレーサビリティに対する要求を持つ消費者が多いということです。

一方で、食品の分野でも普段消費者と接することのないB to Bの事業では、自社の製品をずっと川下まで追いかけて行く例は少ないような気がします。最終的にどこへ行くのか把握できないケースも多いからです。

和歌山の梅農家でこのような話を聞きました。そこで

出荷される梅を使った梅酒はとても人気が高く、シンガポールや香港など海外でも売られています。国内向けには高品質のブランドとして売られる梅酒に使われていますが、海外市場ではディスカウントショップのルートを通じて、格安の梅酒という位置付けで売られていたそうです。

これは、海外向けの梅酒製造を手掛けるメーカー向けに原材料を卸している商社が、まとまった量を安く仕入れて、特に高品質というブランディングもしないまま酒造メーカーに売ったためです。生産者としてはいったん商社に売ってしまったら、その先はどうなっているか知ること、コントロールすることもできません。つくり手としては、本来どのチャンネル、どの地域でも高級な原材料というブランドを確立したいのです。

近年、地方発のものづくりでは、従来B to B向けのビジネスしか手掛けてこなかった事業者が、消費者向けの商品に進出する例が増えています。農業や水産、畜産でいえば生産者が原材料を加工して商品をつくる、いわゆる「6次化」もその流れの一つです。6次化をうたう商品が多いケースでうまくいかないのは、消費者の感じる価値と価格の関係を、生産者がよく理解できていないことが原因の一つではないかと思います。

原材料の生産から加工、製造、販売とさまざまな立場があります。時には自分のビジネスの上流や下流を徹底的にたどることで、価値の発生源を再確認してはかがみましょう。



日経BP総合研究所
上席研究員

渡辺 和博

わたなべ かずひろ

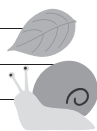
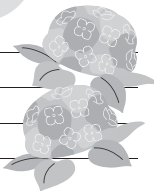
プロフィール

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に「地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり」(日経BP社)。

行事カレンダー 2023

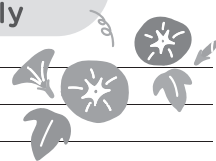
6月 June

- 16金
- 17土
- 18日
- 19月
- 20火
- 21火 常議員会
事業承継相談会
- 22水 商圏分析と活用セミナー
- 23金
- 24土
- 25日
- 26月 第148回通常議員総会・講演会
- 27火 ショッピングサイト「BASE」活用セミナー
- 28水
- 29木 女性会「金沢視察研修会」
- 30金



7月 July

- 1土
- 2日
- 3月
- 4火
- 5水 石川県商工会議所女性会連合会会員大会
- 6木 はじめての経理・クラウド会計活用セミナー
- 7金
- 8土
- 9日
- 10月
- 11火
- 12水 正副会頭会議
- 13木 事業承継の準備しましょう!セミナー
- 14金
- 15土



日本の自動車産業などの 生き残り戦略と 北陸地域の地域創生

東京工業大学特任教授
SMBC日興証券特別顧問(元経済産業省大臣官房審議官)

すぎ た さだ ひろ

講師

杉田 定大 氏

日時

2023. **6/26** (月)

16:30~17:30

場所

七尾商工会議所 2Fホール

聴講料

無料

お申込み締切

6月20日(火)

【お申込み・お問合せ先】

七尾商工会議所 七尾市三島町70-1
TEL 0767-54-8888

Webでのお申込み



----- 切らずにFAXして下さい。 -----

七尾商工会議所総務課宛 **FAX 0767-54-8811**

杉田定大氏 講演会 聴講申込書

事業所名		TEL	
所在地		FAX	
氏名	役職	備考	

※本申込書にご記入いただきました個人情報につきましては、本講演会のみを使用いたします。



《プロフィール》

1980年通産省入省後、流通産業課、欧州課、大臣秘書官などを経て、88年~91年マレーシア駐在(日本大使館)ではAPEC(アジア太平洋協力)の創設にかかわる。1998年初代新規産業課長(ベンチャー振興担当)、この折に、NASDAQ誘致など店頭市場改革、ストックオプション制度創設、PFI法の制定に貢献。

02年通商政策局アジア大洋洲課長、その後通商金融・経済協力課長、内閣官房内閣参事官(知的財産戦略推進事務局)、07年経済産業省中国経済産業局長、08年~09年大臣官房審議官後退官。

また、東京工業大学、早稲田大学で特任教授を務め、現在に至る。

16年6月から21年7月まで一般財団法人日中経済協会専務理事、中国の共産党幹部、経済人と交流。毎年日中経済協会、経団連、日本商工会議所合同訪中ミッションを秘書長として事務総括してきた。

21年7月より日中経済協会は退任し、SMBC日興証券特別顧問に就任(中国・韓国戦略担当、スタートアップベンチャー企業支援、ESG投資、洋上風力などのプロジェクトファイナンス、産業調査等を担当)。

石川県とタイとの経済交流にも関係。